「食」について

学校の教育活動の中で、日課表に組み込まれている「給食」。

本校の給食は、芦北町学校給食センターに提供していただいており、毎月献立カレンダーが届きます。

メニューに関しては、日によって、郷土「水俣・芦北の味」や「くまさんデー〇〇地区」「〇〇学校リクエストメニュー」などが入り、一方で栄養面でのエネルギー（Ｋカロリー）表示や、栄養素ごとの食材表示等、様々な工夫がされています。食材についても、「△月△日のほたては、北海道の森町から無償でいただいたものです」「今月の芦北産の食材は□□、◇◇」などの説明もあります。また、セレクト給食として主菜を選択できる日もあります。カレンダーの左上には、芦北町のスローガンである「１口目は野菜から！」が、その効果を含めて記されています。

献立カレンダーには、「一口メモ」のページが添えられており、日ごとにその日の給食に関するメモが記載されていて、給食時間の放送や指導等に活用しています。例えば、２月２日（金）の一口メモには、「明日２月３日は『節分』です。節分とは・・・『豆まき』をします。」というふうに、季節の行事・風習などの説明が添えられることもあります。

平成２１年に改正された学校給食法には、その目的を「学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するもの」「学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ること」としてあり、この目的を実現するために 次の目標が達成されるよう努めなければならないとされています。

（１）適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。

（２）日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。

（３）学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。

（４）食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。

（５）食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。

（６）我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。

（７）食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

献立カレンダー・一口メモにはこれらの要素が綿密に組み込まれており、目標を達成させるための取組が随所に見られます。そのような給食の献立を考え、毎日作り、届けてくださっている関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

地域の皆様、関係機関の皆様、これからも本校の教育活動への御支援・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和６年２月１５日

芦北支援学校長　井口　英里